

2026年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明会

2025/11/17



旭ダイヤモンド工業株式会社

01

2026年3月期第2四半期（中間期）決算の概要

02

2026年3月期の見通し

03

中期経営計画の進捗

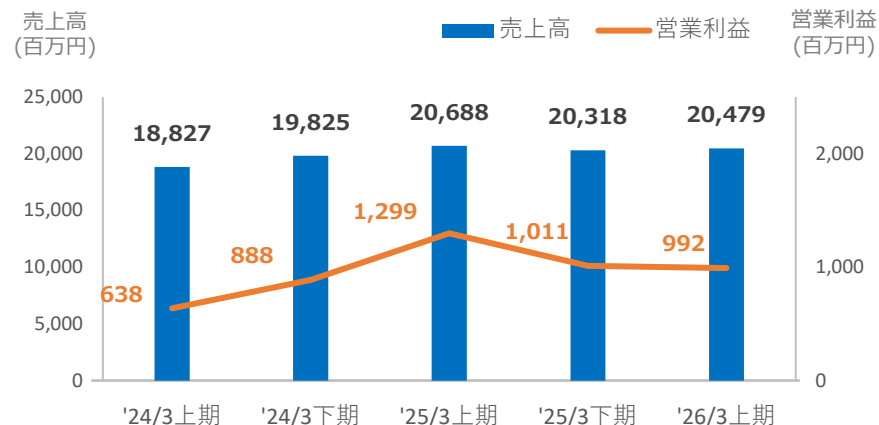
決算概要（連結）

前年同期に対して売上高、営業利益、経常利益が減少となったが、親会社株主に帰属する中間純利益は、欧州旧工場の売却益等により増益

単位：百万円

	'25年3月期		'26年3月期			
	上期実績 '24/4-9	百分比%	上期実績 '25/4-9	百分比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
売上高	20,688	100.0	20,479	100.0	▲209	▲1.0
営業利益	1,299	6.3	992	4.8	▲307	▲23.6
経常利益	1,628	7.9	1,371	6.7	▲257	▲15.8
親会社株主に 帰属する中間純利益	1,129	5.5	1,519	7.4	389	34.5
1株当たり中間純利益(円)	21.90	-	30.44	-	8.54	-

売上高・営業利益



営業利益(対前年同期増減)

増加要因

- ・ 変動費率の減少 3.2億円
- ・ その他 0.4億円

減少要因

- ・ 売上の減少 1.4億円
- ・ 退職給付費用の増加 2.8億円
- ・ 人件費の増加 1.6億円
- ・ 減価償却費の増加 0.9億円

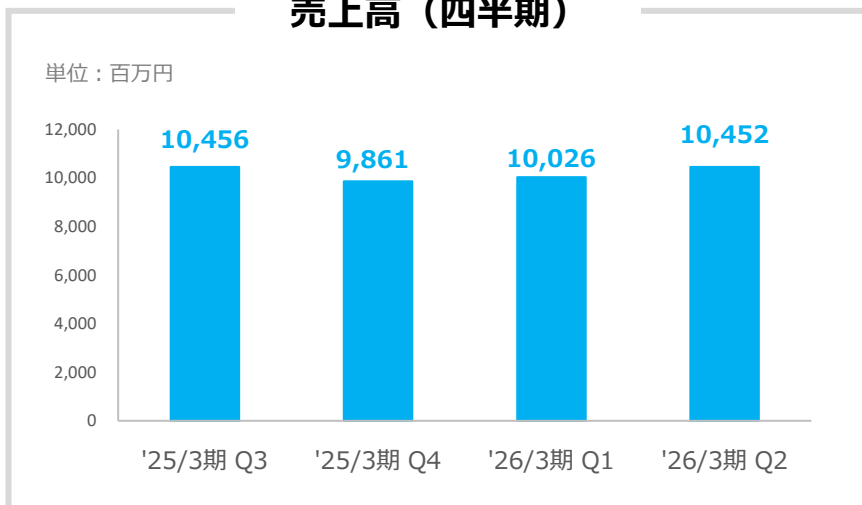
四半期別実績推移（連結）

第1四半期に対して売上は増加したものの、欧州の売上減少等により利益が減少

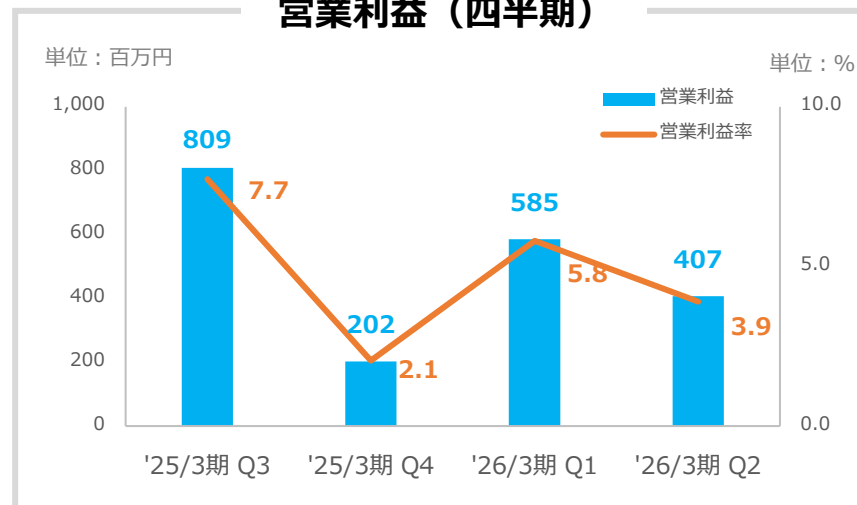
単位：百万円

	'25年3月期				'26年3月期			
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期	
	実績	百分比%	実績	百分比%	実績	百分比%	実績	百分比%
売上高	10,456	100.0	9,861	100.0	10,026	100.0	10,452	100.0
営業利益	809	7.7	202	2.1	585	5.8	407	3.9
経常利益	995	9.5	445	4.5	799	8.0	571	5.5
親会社株主に 帰属する中間純利益	1,029	9.8	334	3.4	838	8.4	680	6.5

売上高（四半期）



営業利益（四半期）



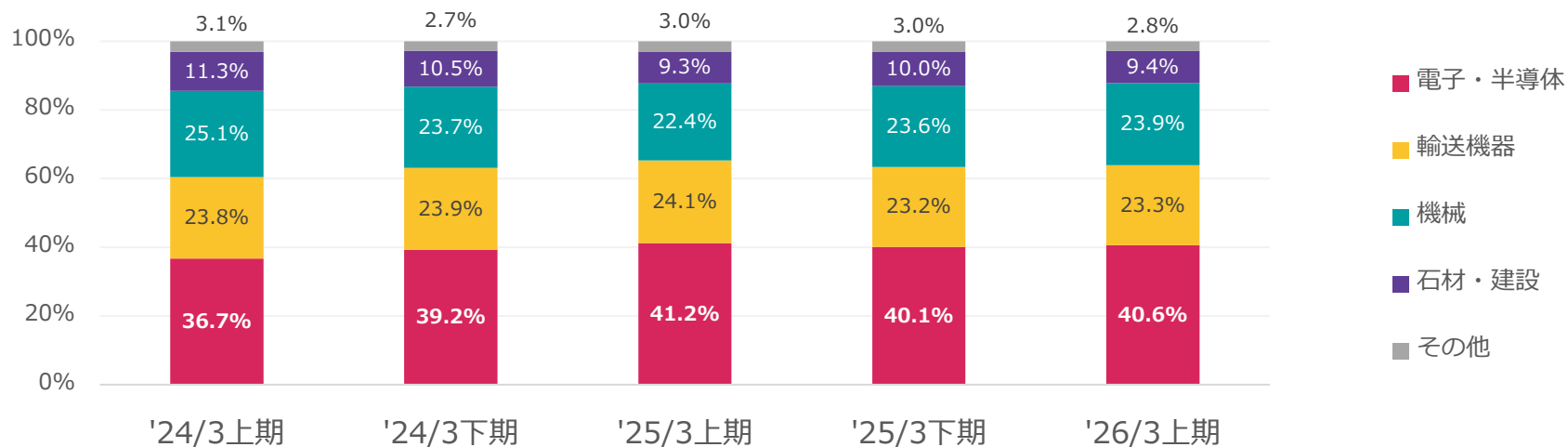
業界別売上高 及び 構成比（連結）

前年同期に対して「機械」を除き減収だが、前年下期に対して増収傾向

単位：百万円

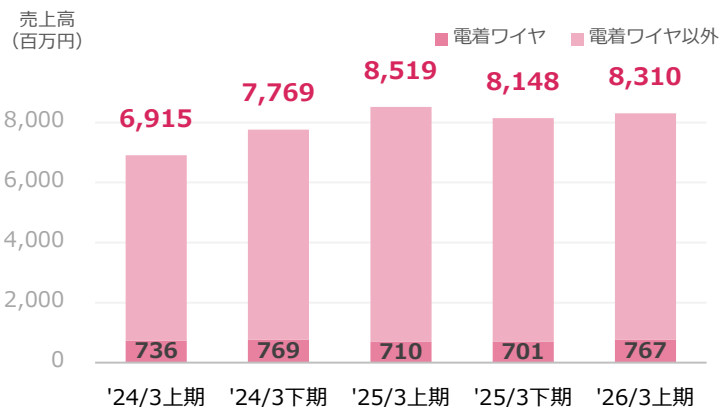
	'25年3月期				'26年3月期			
	上期実績 '24/4-9	構成比%	下期実績 '24/10-'25/3	構成比%	上期実績 '25/4-9	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
■ 電子・半導体	8,519	41.2	8,148	40.1	8,310	40.6	▲208	▲2.4
■ 輸送機器	4,975	24.1	4,716	23.2	4,774	23.3	▲201	▲4.0
■ 機械	4,631	22.4	4,799	23.6	4,901	23.9	270	5.8
■ 石材・建設	1,934	9.3	2,041	10.0	1,926	9.4	▲7	▲0.4
■ その他	627	3.0	612	3.0	565	2.8	▲61	▲9.9
合計	20,688	100.0	20,318	100.0	20,479	100.0	▲209	▲1.0

構成比



業界別売上高：①電子・半導体（電着ダイヤモンドワイヤ含む）

半期



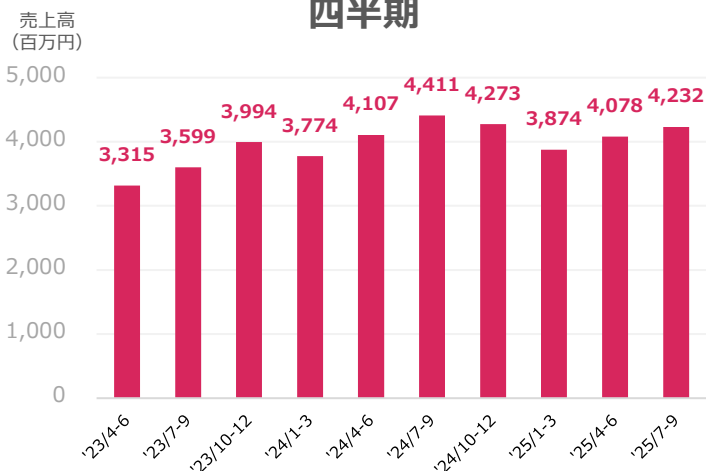
半導体・電子部品

先端半導体用工具は増加したものの、SiC用工具の減少により販売が減少

FPD

前期並みで推移し販売が微増

四半期



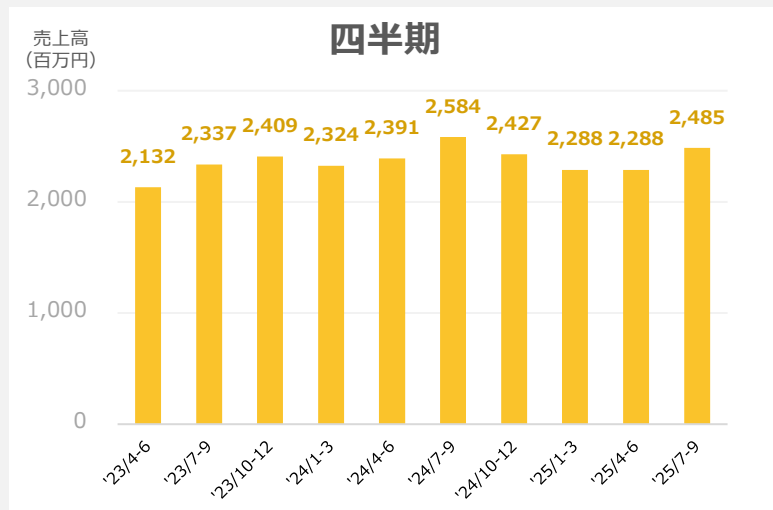
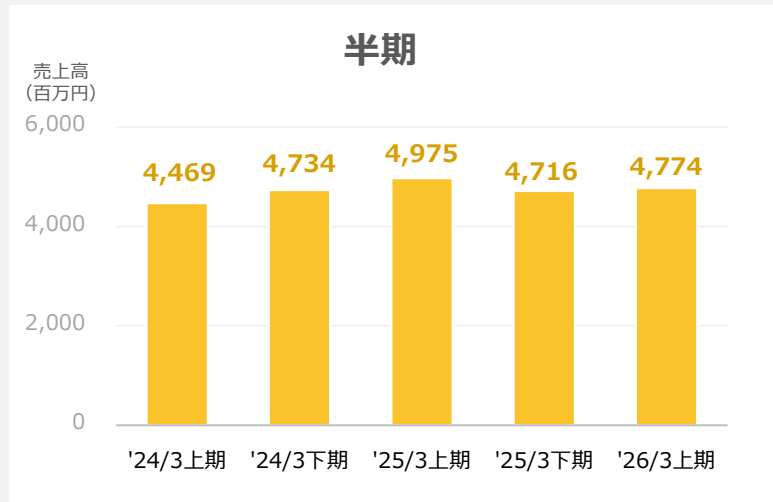
伸線

前期並みで推移し販売が微増

電着ダイヤモンドワイヤ

半導体向けが増加し販売が増加

業界別売上高：②輸送機器



自動車

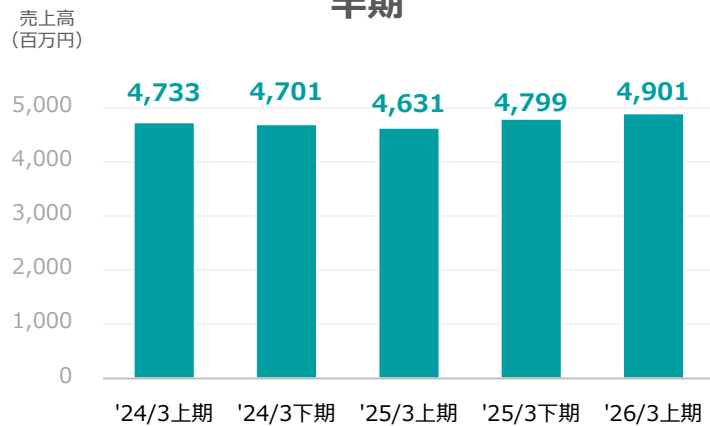
自動車生産の停滞により販売が減少

航空機

需要の増加により販売が増加

業界別売上高：③機械

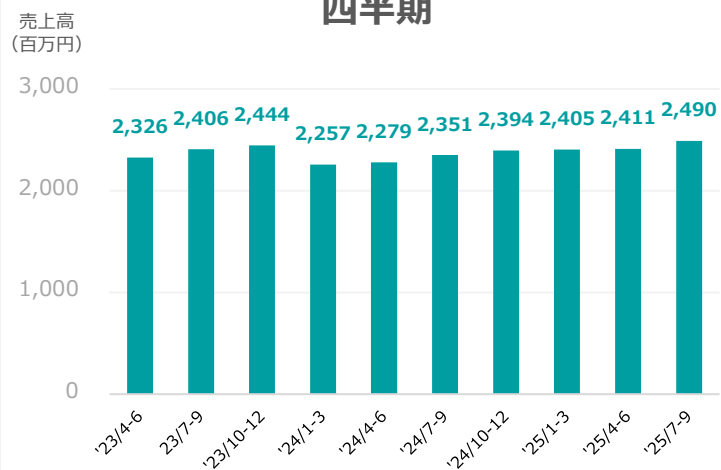
半期



軸受・超硬工具

軸受、超硬共に堅調に推移し販売が増加

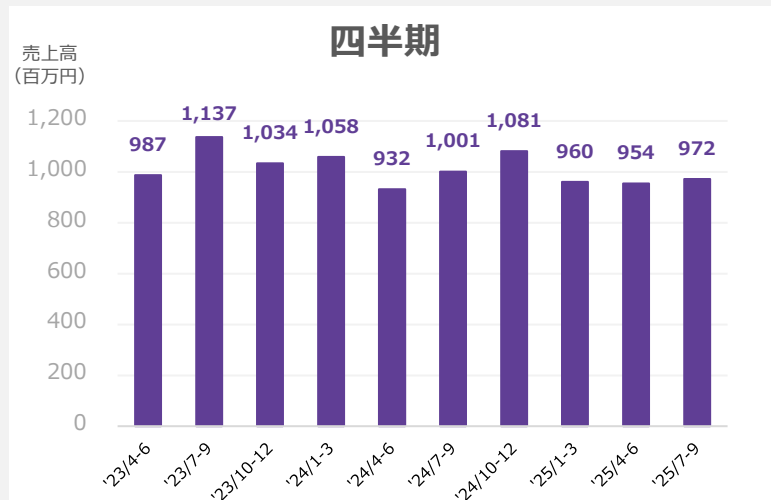
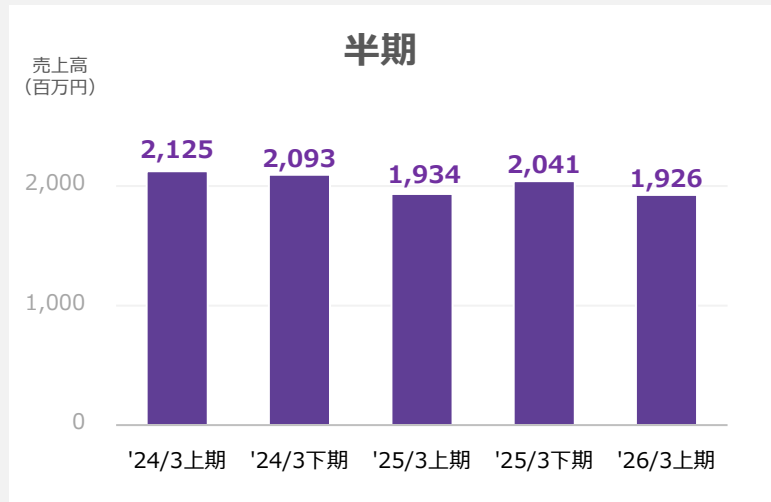
四半期



工作機械

主に米国での需要減により販売が減少

業界別売上高：④石材・建設



資源探査

海外の受注が減少し販売が減少

国内建設

前期並みで推移し販売は微減

流通商品(ポータブルカッタ)

前期並みで推移し販売は微減

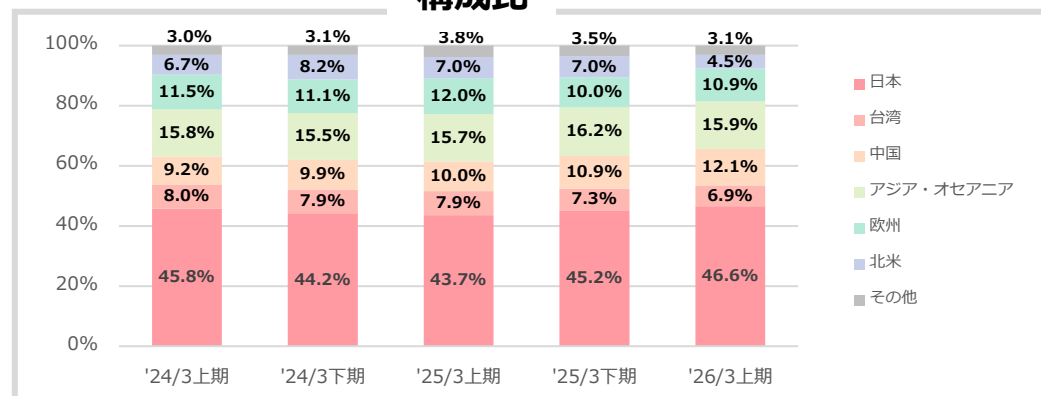
地域別売上高 及び 構成比（連結）

日本、中国、その他アジア・オセアニアで増収だが、それ以外の地域で減収

単位：百万円

	'25年3月期				'26年3月期			
	上期実績 '24/4-9	構成比%	下期実績 '24/10-'25/3	構成比%	上期実績 '25/4-9	構成比%	前年同期 増減額	前年同期 増減率%
■ 日本	9,037	43.7	9,180	45.2	9,547	46.6	510	5.6
■ 台湾	1,627	7.9	1,484	7.3	1,417	6.9	▲209	▲12.9
■ 中国	2,070	10.0	2,204	10.9	2,468	12.1	397	19.2
■ その他アジア・オセアニア	3,243	15.7	3,291	16.2	3,258	15.9	14	0.4
■ 欧州	2,483	12.0	2,031	10.0	2,228	10.9	▲254	▲10.2
■ 北米	1,449	7.0	1,419	7.0	924	4.5	▲525	▲36.2
■ その他	776	3.7	706	3.4	634	3.1	▲142	▲18.3
海外計	11,651	56.3	11,138	54.8	10,931	53.4	▲719	▲6.2
合計	20,688	100.0	20,318	100.0	20,479	100.0	▲209	▲1.0

構成比



日本

「電子・半導体」「輸送機器」「機械」向け増加

台湾

「電子・半導体」向け減少

中国

「電子・半導体」「機械」向け増加

その他アジア・オセアニア

「電子・半導体」「機械」向け増加、「輸送機器」向け減少

欧州

「電子・半導体」向け減少

北米

「電子・半導体」「輸送機器」「機械」向け減少

その他

南米等で「輸送機器」向け減少

連結貸借対照表

資本政策に基づく、配当金、自己株式の取得により現預金が減少

単位：百万円

資産の部	'25年3月末	'25年9月末	増減
現金及び預金	14,752	11,437	▲3,315
受取手形及び売掛金	10,038	10,634	596
棚卸資産	8,759	8,496	▲263
有形固定資産	28,845	28,543	▲302
無形固定資産	408	739	330
投資有価証券	10,778	12,585	1,807
その他	2,767	2,417	▲350
資産合計	76,351	74,852	▲1,498

負債の部	'25年3月末	'25年9月末	増減
支払手形及び買掛金	1,658	1,428	▲230
未払法人税等	222	495	273
退職給付に係る負債	3,188	3,381	192
その他	7,701	6,503	▲1,198
負債合計	12,772	11,808	▲963

純資産の部	'25年3月末	'25年9月末	増減
純資産合計	63,579	63,044	▲535
負債純資産合計	76,351	74,852	▲1,498

01

2026年3月期第2四半期（中間期）決算の概要

02

2026年3月期の見通し

03

中期経営計画の進捗

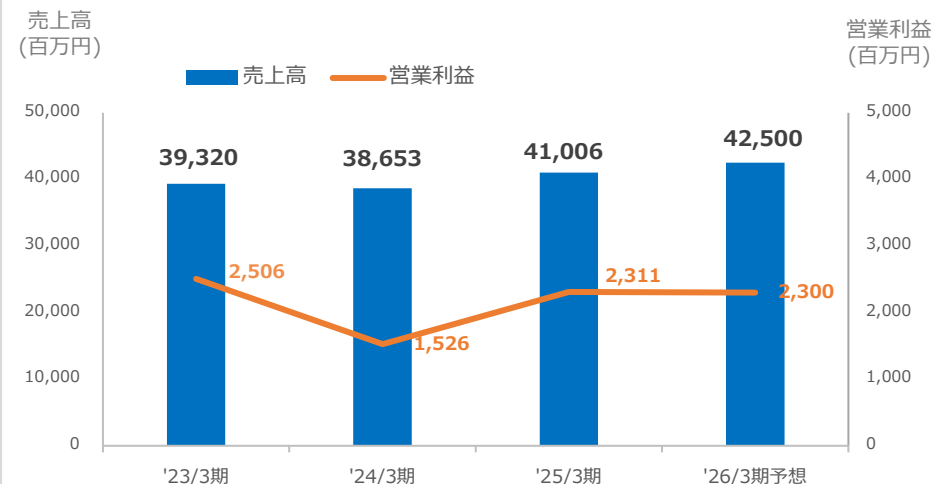
見通し概要（連結）

上期は概ね計画通り。通期は、期初計画からの変更無し

単位：百万円

	'25年3月期 通期実績	百分比%	'26年3月期 通期予想	百分比%	前年同期 増減率%	'26年3月期 上期実績	進捗率%
売上高	41,006	100.0	42,500	100.0	3.6	20,479	48.2
営業利益	2,311	5.6	2,300	5.4	▲0.5	992	43.1
経常利益	3,070	7.5	2,600	6.1	▲15.3	1,371	52.7
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,493	6.1	2,200	5.2	▲11.8	1,519	69.1

売上高・営業利益



営業利益(対前年同期増減)

増加要因

- 売上の増加 10億円
- 変動費率の減少 5億円

減少要因

- 退職給付費用の増加 6億円
- 人件費の増加 3億円
- 償却費の増加 2億円
- その他 4億円

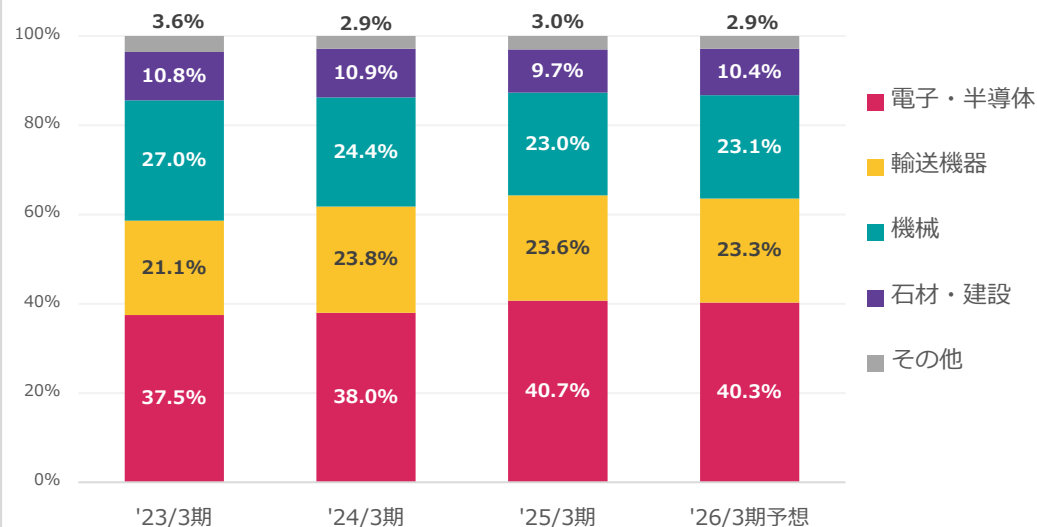
業界別売上高 及び 構成比見通し（連結）

期初計画からの変更無し。電子・半導体、機械を中心に通期予想の達成を見込む

単位：百万円

	'25年3月期 通期実績	構成比%	'26年3月期 通期予想	構成比%	前年同期 増減率%	'26年3月期 上期実績	進捗率%
■ 電子・半導体	16,667	40.7	17,150	40.3	2.9	8,310	48.5
■ 輸送機器	9,692	23.6	9,900	23.3	2.1	4,774	48.2
■ 機械	9,430	23.0	9,800	23.1	3.9	4,901	50.0
■ 石材・建設	3,975	9.7	4,400	10.4	10.7	1,926	43.8
■ その他	1,240	3.0	1,250	2.9	0.7	565	45.3
合計	41,006	100.0	42,500	100.0	3.6	20,479	48.2

構成比



■ 電子・半導体

デバイス用途を中心とした先端半導体向け工具の増加を見込む

■ 輸送機器

自動車向け工具の拡販により増加を見込む

■ 機械

好調な軸受・超硬工具を中心に増加を見込む

■ 石材・建設

国内工事需要の増加を見込む

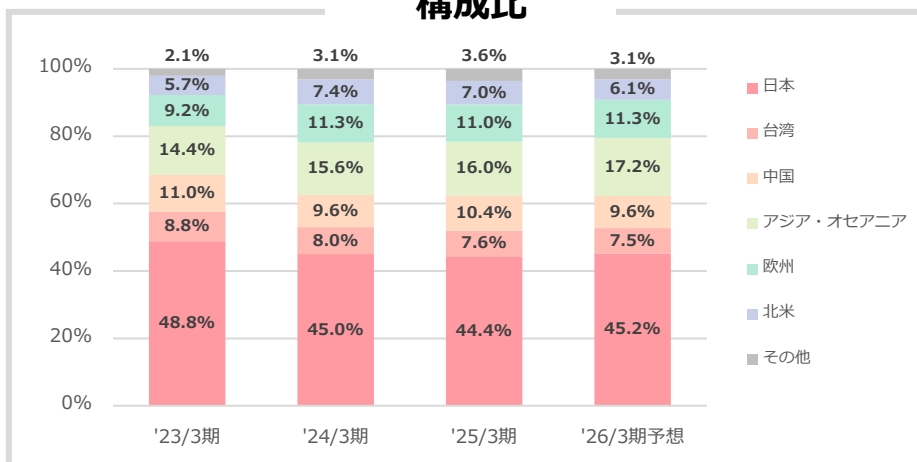
地域別売上高 及び 構成比見通し（連結）

期初計画からの変更無し。日本と中国を中心に通期予想の達成を見込む

単位：百万円

	'25年3月期 通期実績	構成比%	'26年3月期 通期予想	構成比%	前年同期 増減率%	'26年3月期 上期実績	進捗率%
■ 日本	18,217	44.4	19,200	45.2	5.4	9,547	49.7
■ 台湾	3,111	7.6	3,200	7.5	2.8	1,417	44.3
■ 中国	4,275	10.4	4,100	9.6	▲4.1	2,468	60.2
■ その他アジア・オセアニア	6,535	16.0	7,300	17.2	11.7	3,258	44.6
■ 欧州	4,514	11.0	4,800	11.3	6.3	2,228	46.4
■ 北米	2,869	7.0	2,600	6.1	▲9.4	924	35.6
■ その他	1,482	3.6	1,300	3.1	▲12.3	634	48.8
海外計	22,789	55.6	23,300	54.8	2.2	10,931	46.9
合計	41,006	100.0	42,500	100.0	3.6	20,479	48.2

構成比



日本

想定以上で進捗、引き続き増加を見込む

台湾

「電子・半導体」向けの減少により進捗弱い

中国

想定以上で進捗、引き続き増加を見込む

その他アジア・オセアニア

「輸送機器」向けの進捗弱い

欧州

「電子・半導体」向けの減少により進捗弱い

北米

各業界共に進捗弱い

その他

概ね順調に進捗

01 | 2025年3月期決算の概要

02 | 2026年3月期の見通し

03 | 中期経営計画の進捗

▼「VISION2030」で目指す当社のあるべき姿 ▼

世界のモノづくりを支えるグローバルニッチトップメーカーへ

実現に向けた3つの要素

ブランド力の強化

市場浸透による拡販

成長分野/得意分野に注力

経営リソースの効果的な活用

先見的な製品開発

顧客ニーズの一步先へ

事業成長に向けた3つの重点施策

1

半導体注力

2

経営基盤強化

3

リソースの最適化

半導体注力

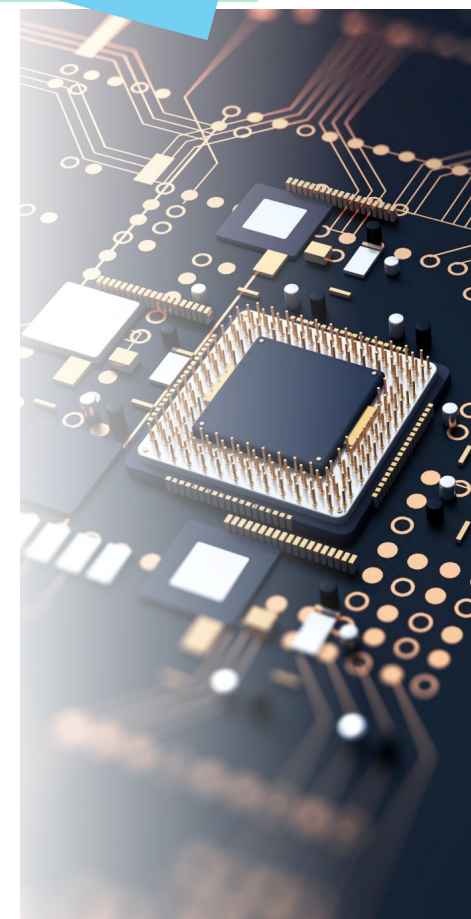
電子半導体セグメントに経営資源を集中させ、
高収益&業界のニッチトップを目指す

▶ 開発・製造

- 脱炭素にも貢献する需要拡大中のパワー半導体用SiC向け工具の開発
- 製造設備導入および工場再編による増産体制の構築
- 短期集中プロジェクトを通じ、高い顧客要求に応える性能向上

▶ 販売

- 高収益製品の拡販に注力
- 展示会の活用 (一部抜粋)
 - SEMICON Japan : 2025年12月17日～19日に出張
 - FOOMA JAPAN 2025 : 2025年6月 出張済
 - [九州]半導体産業展 : 2025年10月 出張済
 - メカトロテックジャパン2025 : 2025年10月 出張済



中期経営計画2025の重点テーマ進捗状況

半導体注力

▶ 注力5製品の売上実績と目標



注力5製品：

電着ダイヤモンドワイヤ、外周面取り用ホイール、面研削用ホイール、CMPコンディショナ、ダイシングブレード

経営基盤強化

2

▶ ITシステム：「経営数値の見える化」と「業務の効率化」の実現

- 基幹システム刷新 《27年度から運用開始予定》
- 営業SFA（営業支援システム）の活用

▶ グローバルガバナンス：中長期グループ経営方針に沿った経営の実現

- 海外子会社の事業計画に基づいた、組織・人材配置の最適化

▶ ブランディング：高品質で信頼できる旭ブランドのイメージ確立を目指す

- ブランドアイデンティティの構築

▶ 人材育成：働きがいのある環境づくり

- 新人事制度による個々の特性を生かす
- エンゲージメント調査、360度評価の実施



リソースの最適化

事業領域整理と社内外リソースの最適化

▶ グループ内最適化

- 事業領域の分析と不採算部門の整理
- 生産能力増強（製造設備の導入、工場レイアウトの最適化）

▶ 外部リソースの活用

- AAダイヤモンドテクノロジー株式会社の量産販売準備〈2027年度下期予定〉
- 製品の外部調達

3



数値目標

中計3年目の目標に近づけるべく、各種施策を推進

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し	2026年3月期 中計目標
連結売上高（百万円）	38,653	41,006	42,500	49,000
連結営業利益（百万円）	1,526	2,311	2,300	4,900
連結営業利益率（%）	4.0	5.6	5.4	10.0
ROE（%）	3.4	4.0	3.5	6.0以上
PBR（倍）	0.80	0.67	—	1.0以上

中期経営計画期間中の資本政策および株主還元

適用期間 2025年3月期～2026年3月期

- 配当性向50%以上
- 総還元性向120%以上（3年平均）

ROE：6%以上 PBR：1倍以上

3カ年創出キャッシュ
160億円～

純利益
減価償却費
政策保有株式の売却

資産の効率化

成長投資：150億円

株主還元：90億円

2026年3月期上期実績

- 株主還元 計25億円
- 設備投資 13億円
- 中間配当金 1株 15円
- 自己株式の取得 17億円

中計1,2年目実績

	2024年 3月期	2025年 3月期
配当性向	73.9%	62.0%
総還元性向	156%	70.1%
設備投資	50億円	53億円
株主還元	33億円	17億円



唯一無二
One and Only

世界の変化を先取りし、革新的技術とグローバルな組織力で、当社にしかできない製品・ソリューションを提供し続けます。

永続的な成長
Eternal Growth

モノづくりに携わる全世界のお客様から最も頼られる存在となり、永続的に成長する企業を目指します。

働きがい
Job Satisfaction

仕事のやりがいを個々の成長に結び付けて持ち味を引き出し、全従業員がいきいきと働く企業を目指します。

- ・本資料には、過去の事実以外に今後の業績見通しや計画が記載されていますが、これらの見通しや計画は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・2023年3月期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しています。なお、連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

